


記者の目

医療事故調査、生かされぬ制度 遺族の声くむ仕組み必要＝桐野耕一（大阪社会部）

注目の連載

オピニオン | 朝刊政治面

毎日新聞 | 2021/4/2 東京朝刊  有料記事 1876文字

医療事故調査制度の改善を求め、問題点や課題を話し合う医療事故の遺族や弁護士ら＝大阪市北区で2月20日、桐野耕一撮影

患者の死亡事故について、医療機関に原因調査や第三者機関への報告を義務づけた国の医療事故調査制度が始まって5年を迎えた。責任追及ではなく再発防止を目的に調査し、遺族にとっても真相究明のための民事裁判を起さなくて済み、負担軽減につながると期待された制度だ。しかし、現状は病院側が報告対象の事故と認めず、遺族が調査を求めても実施しないケースが相次ぐ。私は第三者機関の「医療事故調査・支援センター」が遺族の声をくみ取り、調査につなげる仕組みが必要だと強く訴えたい。

 この記事は有料記事です。 残り1646文字（全文1876文字）

ご登録から1か月間は99円

今すぐ登録して続きを読む

> 登録済の方はこちらからログイン

毎日新聞デジタルは有料記事が読み放題 最初の1か月は99円（税込） 

詳しくはこちら